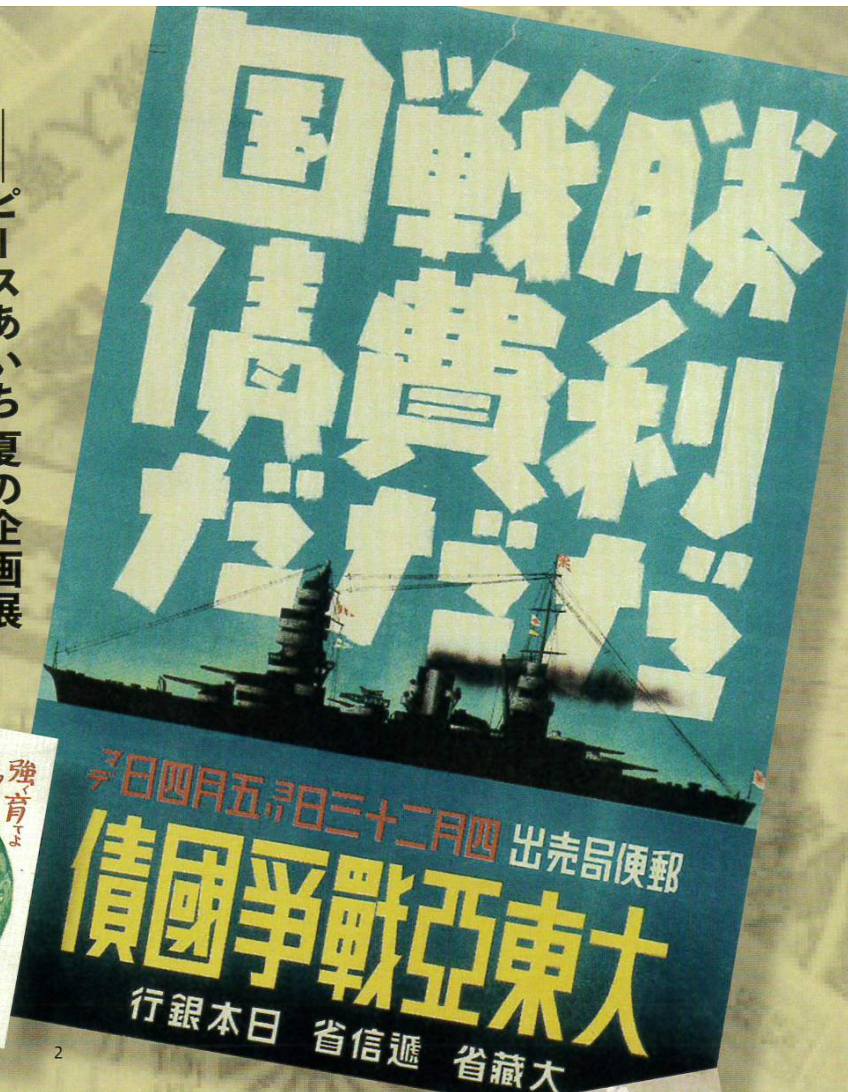


国民を戦争に向かわせた宣伝たち

戦争プロパガンダ

—ピースあいち夏の企画展—



最近、「プロパガンダ」という言葉をニュースなどでよく耳にするようになりました。

今回の企画展は、かつて日本が戦争を遂行するために政府などが国民に対して行った宣伝—プロパガンダ—を紹介する展示会です。

1931年の満州事変以後、長引く戦争にすべての国力を投入するため、1937年に「国民精神総動員実施要綱」が出され、翌年、議会の承認なく政府の勅令で人や物を動員できる「国家総動員法」が制定されました。そして、戦意高揚と「国民のあるべき姿」を示すため、すさまじい戦争プロパガンダが生活のあらゆる場にあふれました。

この企画展では、その「時代の空気」を生々しく伝える戦争プロパガンダの数々を通じて、戦争が国民に何を強いるのか考えたいと思います。

2022年 **7月12日(火) - 9月17日(土)**

開館時間 ■ 11:00 ~ 16:00 (最終日は15:00まで)

休館日 ■ 日曜日、月曜日

入館料 ■ 大人 300円 小中高生 100円

会場 ■ 3階 展示室・2階 プチギャラリー

*この展示は、「東海地域NGO活動助成金」から助成をうけています。

関連イベント・講演会

「プロパガンダ・ポスターにみる
日本の戦争 — 135枚が映し出す真実」

定員 30名
要電話予約

7月23日(土) 13:30~15:30

ピースあいち1階交流のひろば

田島奈都子さん (青梅市立美術館学芸員)



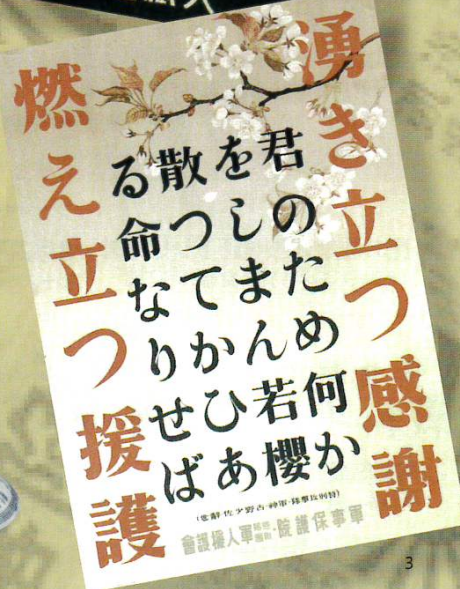
阿智村に残された戦時下のポスターを紹介した田島さんの著書▲

▲茶碗。「愛国行進曲」の歌詞が
書かれている。

【画像】

長野県阿智村に残された
ポスターより

1. 強く育てよ御国の為に
2. 勝利だ 戦費だ 国債だ
3. 君のため何かをしまん



【博物館相当施設】

戦争・平和の資料館 **ピースあいち**

〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820
TEL&FAX 052-602-4222



これからも、街をむすぶ。人をつなぐ。



市バス・地下鉄でのおかけが便利でお得です。

ドニチエコきっぷ・一日乗車券

を利用して
ご来館の方は、
入館料割引!

【大人】300円→**250円** 【小中高生】100円→**80円**

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりーとライン(高架区間)、名鉄バス、あおなみ線、リニモではご利用できません。



ご利用開始後の有効期限内の
ドニチエコきっぷ等の一日乗車
券を提示するだけで、名古屋市
内の施設・飲食店等で割引等
の特典が受けられます!
※詳細は地下鉄駅で配布して
いる特典ガイドブック「なごや得
ナビ」をご覧ください。
(管理 ~ 8/8)

war1.jpg
(1654 X 2338)

国民を戦争に向かわせた宣伝たち

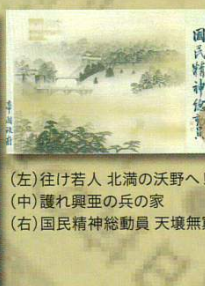
戦争プロパガンダ

ピースあいち夏の企画展

戦争プロパガンダとはどのような宣伝で、当時の国民はどのように受け止めていたのでしょうか。

《展示内容》▼長野県阿智村に残された135枚のポスターから40点を展示。

戦時ポスターは、兵隊を募ったり、戦時国債の購入を呼びかけた国策宣伝でした。
長野県阿智村の当時の村長宅から戦後に見つかったものです。



(左) 往け若人 北満の沃野へ!!
(中) 護れ興亜の兵の家
(右) 国民精神総動員 天壤無窮



駅弁掛け紙
(1943年・大阪駅)
(1941年・浜松駅)
(1938年・大阪駅)

▶戦争を染めたふろしき (豊田満夫コレクションから) 一般社団法人ふろしき研究会所蔵

日常生活の中で使われていた風呂敷には、子どもたちの戦争ごっこや占領した満州国の地図の上に開拓団の小麦の石高を記載したもの、軍艦や戦闘機の図柄などが印刷されています。

(左)「戦争ごっこ」軍隊ラッパ、日の丸、ガスマスク、大砲、戦闘機などを手に遊びに興じる子どもたち。

(右)「記念」陸軍の星章と広がる鉄道網が描かれている満州国の地図。



▲駅弁の掛け紙 (蛸島直コレクションから)

全国各地の駅で販売されていた駅弁の掛け紙には、「総てを戦争のために」「銃後弁当、国民精神総動員」「決戦旅行体制強調」「沈黙!! 一人一人が防諜戦士」などが印刷されています。



「写真週報」第278号

◀紙の爆弾・米軍が投下した「伝単(チラシ)」

米軍は日本人の戦意低下をねらい、戦地では兵士に登降を促すものを、日本国内では空襲の予告などの伝単を投下していました。



春日井市内で撒かれた伝単(春日井の戦争を記録する会提供)

▶ピースあいち所蔵品から

戦争のスローガン(標語)は生活の場にも登場しました。短冊の標語は工場や街中の掲示板に貼られていました。グラフ誌『写真週報』は、戦争遂行のための「思想戦」を目的に発行された大衆向けの週刊誌でした。子どもの鉛筆やマッチャや茶碗の絵柄にも…。

関連イベント ★各イベントとも定員30名(要電話予約)

「蓄音機で聞く軍歌・戦時歌謡」

7月30日(土) 13:30~15:00 ピースあいち1階交流のひろば
軍歌と庶民感覚を反映した戦時歌謡を聞く。
(解説付き) 蓄音機「ヴィクター・ヴィクトローラW1-80」▶



「紙芝居から振り返る戦争のころ」

8月20日(土) 13:30~14:30 ピースあいち1階交流のひろば
「神機いたる」「若櫻」「戦ひのすゝら」
戦争に協力した紙芝居を上演し、作品意図をさぐります。



夏の戦争体験を語るシリーズ

ピースあいち1階 交流のひろば

8月2日(火)~15日(月) 14:00~15:30 (11回) (定員制・要電話予約)

ピースあいち語り手の会会員、語り継ぎボランティアによるお話。詳細はピースあいちHP、ツイッターでご確認ください。

[博物館相当施設]

戦争と平和の資料館

ピースあいち

○開館時間 11:00~16:00 ○休館日 日曜、月曜

○入館料 大人 300円 小中高生 100円

ピースあいちの常設展示

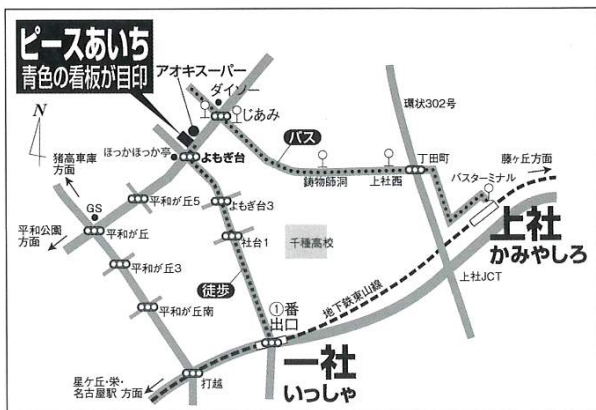
- 第1展示 愛知県下の空襲
- 第2展示 戦争の全体像・15年戦争
- 第3展示 戦時下の暮らし
- 第4展示 現代の戦争と平和



〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820

TEL&FAX 052-602-4222

<https://peace-aichi.com/>



- ▶地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分
- ▶地下鉄東山線「上社」から市バス上社11系統「じあみ」下車、西へ徒歩3分
- ▶駐車場(有料(300円)2台(障がい者用無料1台))

新型コロナウイルス感染拡大等の状況によっては、臨時休館または展示・イベント等の内容の変更があります。電話やHP、ツイッターでご確認ください。